

小松基地・空港対策特別委員会

1. 日 時 平成 29 年 9 月 22 日 (金)
午後 1 時 30 分 開会
午後 2 時 00 分 閉会
2. 場 所 第 2 委員会室
3. 出席委員 浅野清利委員長、灰田昌典副委員長、新田寛之委員、片山瞬次郎委員、
二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員
4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

調査事項

- ・在日米軍再編に係る訓練移転について

報告事項

【飛行場課】

- ・国の平成 3 0 年度概算要求について

【観光交流課】

- ・航空プラザの利用状況等について

6. 委員長報告の要旨

■航空祭について

今回の航空祭について、8月24日、アクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」が不参加という報道発表がありました。

この報道を受け、早速、8月30日に特別委員会を開催し、31日に委員全員で、小松基地司令に対し、確認と申し入れを行いました。

基地司令からは、再度、東京の航空幕僚監部に照会することのことでありましたが、来年度に向けてこういったことがないように、口頭で申し入れをいたしました。

今回は、残念なことに、台風18号の影響により、航空祭が中止となりましたが、このイベントには、10万人以上の集客が見込まれ、大きな経済効果を期待できることから、来年度は、「ブルーインパルス」の展示飛行も、是非とも実施していただき、地元住民のみならず、多くの航空ファンに広えていただくよう、市としても小松基地や関係機関に申し入れることを強く求めました。

■国の平成30年度概算要求について

8月31日に防衛省が財務省に対し行った、平成30年度概算要求が公表されております。

契約ベースで、基地周辺対策費は、平成30年度概算要求額1,401億7千万円で、前年度に対し、156億8千7百万円増の12.6%の伸びとの報告がありました。

住宅防音工事をはじめ、騒音防止、道路改修、緑地整備、周辺環境整備など地元の要望を優先に、是非とも民生安定化に向けて、これからも国直轄事業及び国の補助金を活用し、予算をスムーズに、執行していくよう求めました。

■航空プラザの利用状況等について

4月から8月までの利用者は、14万5千人とのことで、平成29年度は、過去最高の年間31万人超えを見込んでいるとのことであります。

利用者が確実に増えることは大変喜ばしいことであり、まさに空港周辺の賑わい創出が図れ、交流人口の拡大に寄与している施設であるといえます。駐車場の整備など、利用者への更なる利便性向上に取り組んでいくため、県と市の役割分担において改善を進めていただくよう求めました。

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのことであります。

今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めるものであります。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。